

那珂市議会 総務生活常任委員会記録

開催日時 令和6年5月16日(木) 午前10時
開催場所 那珂市議会全員協議会室
出席委員 委員長 小池 正夫 副委員長 君嶋 寿男
委員 桑澤 直亨 委員 木野 広宣
委員 渡邊 勝巳 委員 萩谷 俊行
欠席委員 なし

職務のため出席した者の職氏名

議長 木野 広宣 事務局長 会沢 義範
次長 秋山 雄一郎 次長補佐 岡本 奈織美

会議事件

(1) 調査事項について

…今後の調査事項について協議

議事の経過(出席者の発言内容は以下のとおり)

開会(午前10時00分)

委員長 おはようございます。

お忙しい中総務生活常任委員会、ご参集賜りまして、誠にありがとうございます。

早いものでもう5月も半ばになりました。

皆様には体調を万全にして、来月の議会に備えていただきたいと思います。

開会前にご連絡いたします。

換気のため廊下側のドアを開放して常任委員会を行います。ご理解、ご協力のほどよろしく願います。

ご連絡いたします。会議は公開しており、傍聴可能とします。

また、会議の映像を庁舎内のテレビに放送します。会議内での発言は必ずマイクを使用し、質疑、答弁の際は、簡潔かつ明瞭に願います。

携帯電話をお持ちの方は、電源をお切りいただくか、マナーモードにしてください。

ただいまの出席委員は6名でございます。欠席委員はありません。

定足数に達しておりますので、これより総務生活常任委員会を開会いたします。

職務のため、議長及び議会事務局職員が出席しております。

ここで、議長よりご挨拶をいただきます。

議長 改めましておはようございます。

先ほど委員長からございましたけども結構天気が変わりやすく、もう2月の選挙が終わってから3月4月5月と本当に暑かったり寒かったりと、大変な季節でございますけども、皆様にはしっかりと体調管理をしていただけますようよろしくお願い申し上げます。

ます。

また昨日は今日と打って変わりました中学校の体育祭が行われまして、逆に昨日でよかつたなどは思っております。

また今日の総務生活常任委員会、調査事項についてということで、皆様の慎重なご意見を頂きますようよろしくお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

委員長 ありがとうございます。

これより議事に入ります。

調査事項についてを議題といたします。

当委員会で今後調査等を行いたい案件について、委員の皆様のご意見を伺いたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

渡邊委員 調査事項につきましてですけどちょっと私のほうで考えたこともございまして、それちょっと皆様方にお話をしたいと思ったんですけども、総務部で所管している管財課になるんですけども、公共施設マネジメントという経営計画があるかと思えます。公共施設の建物等のマネジメントをしている計画なんですけども、老朽化が進んでいる建物がございます。昭和40年代に建てられた学校なんかもそうなんですけども、そのようなものを今後、どのようにしていくのか長寿命化していくのか、それとも建て替えをしていくのか。いろいろあるかと思うんですけども、この辺のものを一度調査をして、今後どのような計画が進行進捗等をどう考えていくのか。この辺を議題として、調査事項として、他の市町村等を確認しながら、那珂市に合ったやり方はどうなのかとか、その計画自体が本当に計画どおり進むことができるのか。その辺を調査するのも一つの方法かなと思っていたんですが、よくよく考えていくと、学校となってくれば当然教育厚生常任委員会のほうになってくるでしょうし、施設は、所管しているところ、全体的なその計画をつくったのは、総務部の管財課でやっていると思うんですけども、所管をしている建物自体が、教育厚生常任委員会にまたがってみたりとか、あとは産業建設常任委員会にまたがってみたりと、いろいろな部分に絡んでまいりますので、すいません、自己完結しまって申し訳ないんですけども、ちょっと話しているうちに、ちょっとまずいなと思ってしまったので、一応そういうことを考えていたんですけども、ちょっと特別委員会になるような話になってしまったので、すいません取下げしたいと思っております。

委員長 はい、分かりました。

ありがとうございます。

桑澤委員 ちょっと私の調査事項として適切かどうかまでちょっと含めて教えていただければと思うんですけど2点ほどあって一つは、自治会の問題ですかね。組織の体制含めて高齢化の問題もありますし、そういった今後、どういう体制にしていくとか、ICTを含めてどういう改革をしていくとかそういった部分も含めて調査したほうがいいのか

なっている点と、もう一つは、これも適正かどうか分かりませんがごみ処理場の問題で
すかね、これは大宮地方環境整備組合との絡みもあるかもしれませんが、処分場の
今後どうしていくのか。老朽化も含めて炉の修繕工事なんか始まっていくみたいですが
ども、それも、この先それでずっと進むのかどうか、建物自体も含めて、建て替えも含
めて、調査していくのはどうなのかなって言うこの2点でございます。

木野委員 まず自治会のほうの体制につきましては、これは本当に、結構深刻な問題だと思
います。ただ、那珂市今68自治会、たしかそれぐらいあると思うんですよね。それをつ
ていうことは、要するに、地元を調べたいって言うことでそれとほかの自治体の全体的、
全体的な部分、そうなるとうまとめていくのがどうなるのか。というのがまず一つで
すね。

あと、ごみ処理場の件に関してはこれ大宮地方環境整備組合ってのがあるので、そち
らのほうで、今後の流れを全部出していますので、それは多分、桑澤委員も多分今度組
合会議員になったと思いますんで、それは向こうのほうでやってもらうことになると思
います。

ちょっと自治会に関して皆さんのやっぱり意見を聞いたほうがいいのかなと思います。
以上です。

副委員長 先ほど渡邊委員、桑澤委員からお話があったものも含めてちょっといろいろこう
いう私の知ってる範囲では、一つはやはり公共施設、これはだんだん老朽化してきている
ということは確かにあると思うし、ただそれを維持するのか、今後どうしていくのかっ
ていう方向性はこれこういう本当に決めていかなきゃ、いけないかなと思いますし、学
校についても、やはり人口が減少してくれば、学校の統廃合も考えていかなきゃならな
いってのも出てくると思います。それについてやっぱり教育厚生常任委員会なんかとも
連携とっていかなきゃなんないのかなって言うのも感じたところですし、桑澤委員の自
治会加入なんかも、やはりどうしても人口が減ってくると、その点についても入る加入
者も減ってくる。これ、もう本当に比例していくのかなって思いますし、先ほどごみ焼
却問題については、先ほど木野委員からも話があったように、大宮地方環境整備組合で、
もうこれから長期計画として、いろいろ進めているところですから、そこは大宮地方環
境整備組合の方にお任せしたほうがいいかなと思うんです。

そこで私ちょっとこういういろいろ考えたのが、やはり那珂市における人口減少、とい
うのは今は大体5万4,000人ぐらいでいますけれども、今年2050年ぐらいには1万2,000
人にもう、推測ですけど、人口も減ってくるだろうと言われますし、最近では消滅する
自治体もあるとか、そう言われている中でこの那珂市がどう政策を出しながら、人口減を
防ぎながら、できれば、増にしていきたいような施策を考えていくのも一つかなと思
うんです。やはり今、5万人以上の人口があるから大丈夫じゃなくて、今後10年、5年、
10年先を見据えたきちんとした政策を私たち議会でも提言していくのも一つのことかな

と思うんで、そういう点についても調査していただければと思います。特に今、各自治体で頑張っている自治体がありますから、そこをちょっといろいろ調べてみると、企業誘致なり、また子育て支援なり、あとは、観光地をいかにもっとPRしていくかとか、そういういろんな課題に取り組ながら、人口を増やしている自治体もありますので、そういうところをいろいろ調査研究していくのも一つの方法かなと思いますので、そこもちょっと提案させていただきます。

以上です。

委員長 ありがとうございます。

ほかにございますか。

木野委員 今君嶋委員からもありましたけども確かに、今回の新聞の人口の調査でも、今までになくちょっと減ってるのかなっていう、前回まで2桁だった今回は3桁100何世帯になってるっていう部分あるので、逆にそういったのを踏まえた上で、今君嶋委員が言ったような、調査方法もいいんじゃないかと私は思います。

以上です。

委員長 萩谷委員何かありますか。

萩谷委員 私先ほど出た、渡邊委員から出ましたけども、ダブるといって三つが絡むかもしれませんが、公共施設なんかもね、今後どうするかということも決して悪くないし、また桑澤委員からの自治会、これは額田地区なんか見てもごそっと町内を抜けちゃった町内が二つくらいあるんですよ。これも大きな問題だと思いますし、君嶋副委員長からもありましたね、人口減少対策、これみんな大事だから、どれを取上げていっていいかなと思うんですよね。どれに絞っていくか。取りあえずまず、ということかなと思いますね、まずは。三つとも一緒にやっていくことなんかは難しいでしょうから、まずは一つ、今年は何れ、来年は何れという形どれでもいいと思います。

委員長 今出た意見の中でですね、やはりもともになるのはやはり人口減少ということが1番の危惧する問題、これ社会的問題として、日本全体世界全体も人口が減っていくと、いったところで非常に危惧されて消滅してしまう自治体があると。この間もそのように全国でも1,700幾つあるということで言われております。ですからやはり人口減少でやっていく自治体、それで人口が少なくなっていてもそれがうまく存続できるような、そういう自治体というのはたくさん日本の中で成功してるところもあるようなので、一応そういうところを那珂市としてもですね、先駆けて先に勉強して、どういうふうにしていったらいいか。産業建設常任委員会の問題でも、那珂市の道の駅やいろいろそういうもう企業誘致の問題等々もありますので、そういうところをちょっとこの勉強していってですね、どういうふうにも人口が減っても、自治体コミュニケーションを維持できるのか、そういうところをもっとこう深く掘り下げて今回調査事項にしてはいいかなと私も思います。

萩谷委員 先ほど木野委員から出た、この前110何人か20何人3桁珍しく減ったんですよ、那珂市がね、新聞に出てましたけど。いつも大体、2桁が1桁とかだけれど初めてだと思うね。多分見て今まで私も見てましたけど。そういう面ではやっぱり危惧する部分は、かなりあると思うし、消滅自治体が相当多いということで新聞の調査が出てましたし、そこで考えれば、人口減少、これについて調査していくというのがいいのかなと思いますね。

渡邊委員 私も先ほどちょっと提案させてもらった部分にふれますし、桑澤委員のおっしゃった自治会の話もあります。やはり根底にあるならば人口減少、というのがまずそこをどうするかっていうのがあった上で、次のステップに行こうかと思えますので、君嶋副委員長が申されました、人口減少についてというのは、やはり、根底にあるものと思えますので、私はそれがいいと思えますので、はい。

桑澤委員 確かにもとってうかね、根本というのを最初にまず調査して、そのあとにまた枝葉に分かれたもの問題について、来年以降、調査していけばいいのかなっていうのを今思いましたので、今回は、副委員長おっしゃったとおりのテーマで進めていくっていうのがよろしいんじゃないでしょうか。

委員長 それではその人口減少の調査ということでよろしいでしょうか。

それで我々委員会としてもそれで勉強したりいろいろ学習したことを市のほうに提言していくと、そういった形にしていきたいと思えます。

よろしいでしょうか。

事務局長 すいません、今人口減少の関係ということで調査し、所管事務調査のほうを行うということでご決定頂いたんですけども、今市のほうの提言というようなお話もあったかと思うんですが、今年度、まちひとしごと創生総合戦略、こちらのほうの計画期間が満了となりまして、新たに、令和7年度からデジタル田園都市国家構想関係の計画のほうに移っていくかと思えます。

こちらのほうのスケジュールがまだ決定ではないですけども、恐らく今までの例で言いますと12月ぐらいに計画案等が出てくる可能性が高いのかなというふうに考えてます。そのあとにパブリックコメントとかそういったものになる、決定ではないですけどね、そういったこともあることが予想されます。

委員会として提言っていうのが、12月を過ぎてしまった場合に、なかなか反映させるっていうのが難しいところがある可能性はあります。ただ、あくまでも人口減少をということで調査のほうをされていく際に、決してその計画書に載せるだけじゃなくて、委員会として勉強して行って、それで、1年かけるのか2年かけるのか分かりませんが、そういったものをまとめて計画とは別に、委員会としての考えをまとめていくっていう方法もあるかと思えます。

ただ一応そういった計画があるということだけご承知おき頂ければと思います。

あと、すいません。今回新人の議員いらっしゃいますので確認なんですけども、一応所管事務調査関係の調査事項につきましては、一般質問は行わないように努めるというように申し合わせ内規になっておりますので、そちらのほうだけご承知おき頂ければと思います。

以上です。

委員長 ありがとうございます。

副委員長 今事務局長から説明がありました政策について12月に新しい政策が出て、パブリックコメントということなんですが、ただもうそれに載せようとするんじゃなくて、この委員会はいろんな政策について、調査研究しながら、今後の那珂市の政策の中でいろいろ提言できるものとか、そういうものにしていければいいのかなと思うんですね。ですから今回の新しい市の出す政策の中に入れてくれじゃなくて、うちはそれに対していろいろ調査をしているという形の流れでいいのかなと思いますので、私はそう思います。

委員長 ありがとうございます。

そのような方向でですね、やっていきたいと思います。

よろしく願いいたします。

人口減少ということになっていろんなことも加味して含んでおりますので、いろいろ調査できると思いますので勉強になると思いますので、はい、よろしくどうぞ。

ほかにありませんか。

よろしいでしょうか。

木野委員 今の件に関しましては委員長、副委員長にお任せしますので、よろしく願いいたします。

委員長 それではですね、当委員会の調査事項は人口減少についてのことについて進めていきたいと思います。

それでは決定した調査事項について、まず、市の現状を執行部に伺っていきたく思います。6月の委員会終了後に実施するか別日に設定をするかということの調整を後でしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

日程等決まりました場合には、ラインワークスでお知らせいたします。

よろしく願いいたします。

本日の案件は以上で終了いたしました。

以上で総務生活常任委員会を閉会といたします。

ご苦労さまでした。

閉会（午前10時20分）

令和6年5月28日

那珂市議会 総務生活常任委員会委員長 小池 正夫